

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（細菌）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、保管されている試料（細菌）を利用してほしくない方は、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	ヒト・動物・環境における指標細菌の全ゲノム解析による薬剤耐性遺伝子の比較
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学 先端研究院 沿岸環境科学研究センター (CMES) 渡辺幸三 (田内久道)
研究期間	研究機関の長の許可日～2028年12月31日
対象となる方	2021年4月から2027年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち大腸菌およびESKAPE菌（腸球菌、黄色ブドウ球菌、肺炎桿菌、アシнетバクター、緑膿菌、エンテロバクター菌種）が検出された患者さん
利用する試料・情報等	患者さんから検出された大腸菌およびESKAPE菌
研究の概要 (目的・方法)	抗菌薬が効かない薬剤耐性菌は、ヒト（患者）だけでなく、動物（家畜）や環境（河川）でも発生しています。本研究では、細菌のゲノム情報の類似性を基に、ヒト・動物・環境間で薬剤耐性菌が循環している証拠を明らかにすることを目的としています。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、

	発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院感染制御部 田内久道 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-955-9797